

## ②地方創生とは

### 〈地方創生が目指すもの〉

地方創生を具体的に表現したものが、「まち・ひと・しごと創生」です。

※ま ち：豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

※ひ と：地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

※しごと：地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

【国の動き】

平成 26 年 9 月

「まち・ひと・しごと創生本部」設置

平成 26 年 11 月

「まち・ひと・しごと創生法」施行

平成 26 年 12 月

「長期ビジョン・総合戦略」閣議決定

### 将来予想

○2008 年に始まった人口減少は、今後加速度的に進む。

○人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となる。

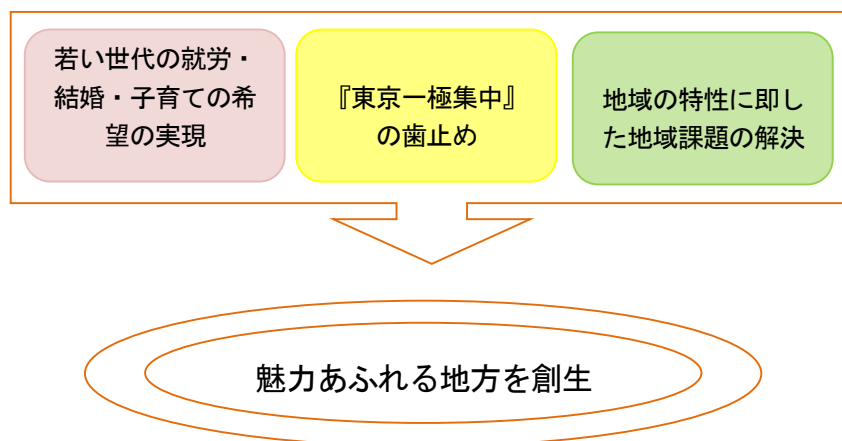
### 目指すもの

○国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、2060 年に 1 億人程度の人口を確保する。

○まち・ひと・しごと創生は、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。

### 〈国の視点〉

誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを進めるため、下記 3 つの視点を基本として、魅力あふれる地方を創生し、地方への人の流れをつくります。また、経済の回復を全国津々浦々で実感できるようにします。



### ③竹田市の取り組み

都道府県・市町村（地方自治体）も地方版の「長期人口ビジョン（2060年）」、「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定する努力義務が課せられています。また、策定にあたり、市民、産官学金労言及び議会といったところから意見を聞くこととされています。

また、平成27年10月末までに「総合戦略」を策定すれば、平成27年度「先行型交付金」、「上乗せ交付金」、「加速化交付金」や平成28年度「推進交付金」等、国の財源により総合戦略に記載した事業を目標数値（KPI）を定めたくて実施が可能となります。

※KPI=重要業績評価指数

#### 〈竹田市のこれまでの取り組み〉

平成27年1月29日に「竹田市地方創生TOP戦略本部」を発足させると同時に「戦略本部事務局」を設置しました。

市民、産官学金労言及び議会といった各分野からのご意見を拝聴し、平成27年10月に『竹田市TOP総合戦略』を策定しました。

策定から本日まで、国の各種地方創生交付金や交付税（地方創生枠）を活用しながら、5年間で特に先行して実施する先駆的な事業等を推進してきました。

※実績については次項

#### 〈竹田市のこれからの取り組み〉

国は、まち・ひと・しごと創生を実現するためには、従来の政策の反省に立ち、PDCAサイクルによる検証を行い、次年度以降の戦略に反映させていくよう定めています。

今回初めてPDCAサイクルに沿った検証会議を開催し、結果を踏まえた施策の見直しや改定の、次年度以降も戦略を実行していきます。

PDCA サイクル：

Plan-Do-Check-Action の略称

Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。